

【山本 裕一先生抄録】

口腔内スキャンデータ受注から納品まで ～IOS がもたらす物流変革と今から始められるデジタル化について～

10 数年前まで、デジタル技工は自費が中心で、アナログ技工がメインの方には関わりがないと思っておられた方は少なくないと思います。しかし、CAD/CAM 冠が保険収載となってアナログ技工が多かったラボでもデジタル技工が普及しました。そして 2024 年度診療報酬改定で IOS が保険収載されたことにより、更にデジタル技工が普及すると予想しています。

今回のセミナーはデジタル技工が得意ではない方、IOS に慣れていない方を対象に誰でも即始められるよう、IOS の仕組みや受注から納品までの流れを解説します。

また、IOS にて光学印象されたスキャンデータを自身のラボで取り扱うには高額な設備投資が必須と思われがちですが、予算や状況に合わせて取り組むことも可能で、それぞれデジタル技工の大きなメリットと言えます。

この講習会を機に 1 人でも多くの方がデジタル技工難民とならぬよう、デジタル技工の恩恵にあやかれるきっかけとなりましたら幸いです。